

エコアクション21 環境経営レポート

(2022年度)

期間：2022年10月 ～ 2023年9月



有限会社 クニモト建設

2024年 4月 1 日 発行

環境経営方針

基本理念

有限会社クニモト建設は、国連が定めたSDGs(持続可能な開発目標)を意識しながら
エコアクション21活動に取り組みます。

また、建築物等の解体工事業、産業廃棄物(中間)処理業、最終処分業、一般・産業廃棄物収集運搬業
ならびに廃棄物のリサイクル活動を通じて社会に貢献します。

そして継続的に活動することで従業員の幸福と生活文化の向上を目指します。

同時に共に地域環境の保全と汚染の予防を経営の重要課題と認識し、地球にやさしい活動を行います。

以下の環境経営方針により、事業活動によって生じる環境への影響を認識したうえで、
環境目標を設定し、見直します。

また、全従業員が環境問題に積極的に取り組むことで地域社会の美化に貢献し、継続的に改善を行います。

行動指針

全社員が環境保全に対する意識を向上させ、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を図ることにより
積極的に環境保全活動を推進するとともに、必要な見直しを行うなど効果的な取り組みを行います。

- ① 受託した産業廃棄物の適正な処理を実行します。
- ② 解体工事に伴い発生する廃棄物及び受託した廃棄物は、分別等によりリサイクルを推進します。
- ③ 事業活動のすべての分野において省エネ・省資源を徹底します。
- ④ 工事騒音と振動の発生を抑制するとともに、水質の汚濁を防止します。
- ⑤ 環境保全に関連する法規制及びその他の令意事項を順守します。
- ⑥ 環境保全に関する教育を継続的に実施し記録します。
- ⑦ 積極的に社会貢献活動に参加し地域の美化に貢献するよう努めます。

制 定 2020年2月1日

最終改訂 2023年4月1日

有限会社 クニモト建設

代表取締役 国本 敏信

組織の概要

◇事業所名

有限会社 クニモト建設
代表取締役 国本敏信

◇所在地及び連絡先

本社 〒754-0002 山口市小郡下郷1073-6
山口営業所 代表地番：山口市陶字西ノ浴914-1
江崎事業所 代表地番：山口市江崎字割小松一10988-12
宇部事業所 代表地番：宇部市大字西岐波字椎ノ木590-1

TEL：083-972-7529 FAX：083-972-7531

E-mail: info@kunimoto-k.com

環境管理責任者：取締役 国本夏希

連絡担当者：取締役 国本夏希

◇事業内容

- ・産業廃棄物の中間処理業及び最終処分業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物収集運搬処分業
- ・コンクリートのリサイクル業務
- ・木質チップ製造販売
- ・運送業
- ・解体工事業
- ・一般土木建設業
- ・再生材製造販売
- ・真砂土・散砂製造販売

◇事業の規模

資本金 2,000 万円
社員数 28名
設 立 平成1年4月1日

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	千円	600,366	612,953	662,845	712,294
従業員	人	27人	26人	25人	28人
床面積(土地)	m ²	135,386	135,386	135,386	135,386

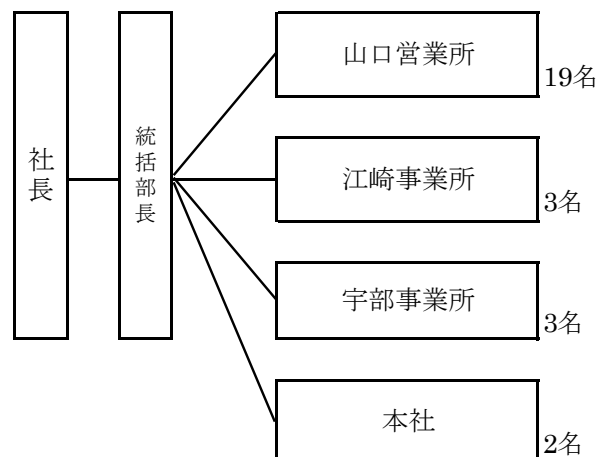
◇事業年度

10月1日～翌年9月30日

◇認証・登録範囲

全組織・全活動

◇組織図



運搬車両、処理施設の概要

①運搬車両の種類

車両の名称	型 式	自動車登録番号	最大積載量 (kg)
脱着装置付コンテナ専用車	QKG - FS1EWEA	山 口 130 か 19	11,100
脱着装置付コンテナ専用車	QPG - FV60VZ	山 口 132 あ 22	11,200
脱着装置付コンテナ専用車	2PG - FJ2ABA	山 口 130 や 55	8,000
脱着装置付コンテナ専用車	KL - FV50JTZ	山 口 131 い 15	11,300
ダンプトラック	QKG - CXZ77AT	山 口 130 い 4872	9,200
ダンプトラック	LDG - FV50VX	山 口 130 い 3985	9,000
ダンプトラック	QKG - FS1EKDA	山 口 130 き 28	8,200
ダンプトラック	KS - FE7JMFA	山 口 130 あ 2097	6,100
ダンプトラック	KC - FC2JCBD	山 口 100 せ 407	2,900
ダンプトラック	KK - FC1JCDA	山 口 100 せ 769	3,550
ダンプトラック	PB - FC7JCFA	山 口 100 さ 6948	3,450
ダンプトラック	KK - XZU321T	山 口 100 さ 2108	3,000
ダンプトラック	SKG - NKR85AN	山 口 4360 さ 926	3,000
ダンプトラック	EBD - DA16T	山 口 480 ち 4687	350
キャブオーバー	2KG - FV70HZ	山 口 130 こ 27	10,600
キャブオーバー	U - FE516BN	山 口 130 い 330	11,200
ダンプトラック	2DG - FS1AGA	山 口 102 う 111	8,200

②中間処理施設・最終処分場の概要

施設の種類 破 砕 (移動式を含む)	設置場所	山口県山口市陶字西ノ浴3919番
	設置年月日	平成7年4月24日
	種類、処理能力	コンクリートくず・がれき類・アスファルトくず880t／日
		(8時間)
	設置場所	山口県山口市江崎字割小松一10988番12
	設置年月日	平成29年11月28日
	種類、処理能力	廃プラスチック類168t／日、木くず264 t ／日
		(許可番号:第21号の6)
安定型最終処分場	設置場所	山口県宇部市大字西岐波字椎ノ木590番1、591番
	設置年月日	平成24年4月20日
	埋立面積	16,740.08㎡
	埋立容量	125,689.00㎥ (許可番号:第2号の9)
	残余量	43,776.0㎥
	設置場所	山口県山口市陶字西ノ浴911番、914番1、3921番、3922番の各一部及び3923番
	設置年月日	平成7年7月7日
	埋立面積	2,824 ㎡
	埋立容量	25,569.6 ㎥ (許可番号:第2号の9)
	残余量	603.6㎥

③積替え又は保管施設の概要

I.産業廃棄物収集運搬積替え保管施設

所在地	山口県山口市陶字西ノ浴3918番
種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。以上3種類）、木くず、繊維くず、ゴムくず（これらは石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 以上7種類
面積	119.68㎡
保管上限	70.69㎥ 積み上げ高さ:1.22m

所在地	山口県山口市江崎字船木ヶ浴1008番2
種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。以上1種類）、木くず（これらは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 以上2種類
面積	857.31㎡
保管上限	1579.8㎥ 積み上げ高さ:3.00m

◇ 廃棄物処理実績（2022年10月～2023年9月）

収 集 運 搬 量	42,510 t
中 間 処 理 量	37,576 t
最 終 処 分 量	7,404 t

◆許可の内容一覧表（別紙１）

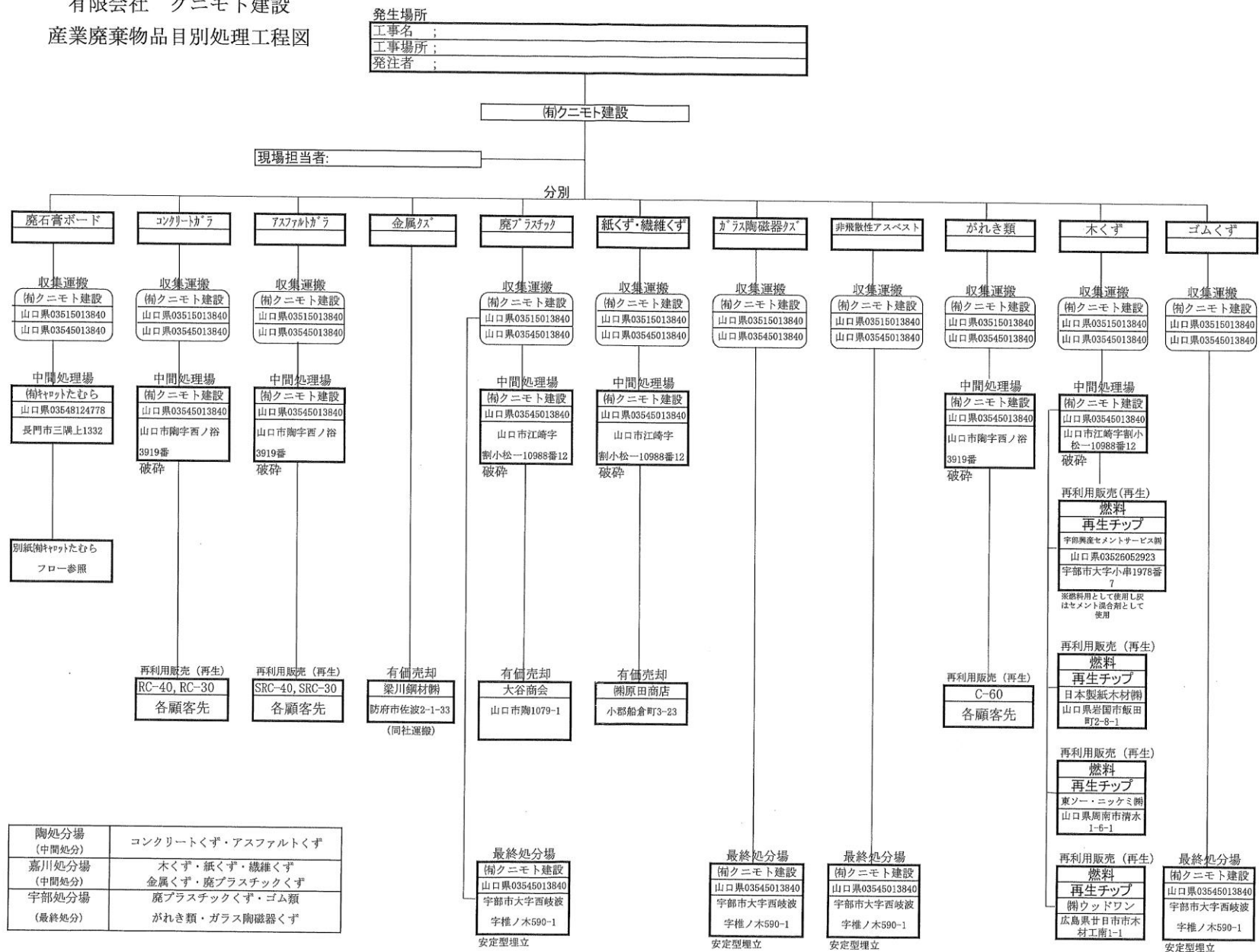
産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）																	その他				
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
	有	無																							
山口県	★		令和4年7月25日 令和9年7月22日	第03515013840号	★	★				★	★	★	★		★			★	★	★					山口市陶字西ノ浴3918番 許可の条件なし
広島県		★	令和2年4月14日 令和7年4月13日	第03400013840号						★	★	★	★		★			★	★	★					積替保管なし 許可の条件なし
福岡県		★	令和2年3月18日 令和7年3月17日	第04000013840号	★	★				★	★	★	★		★			★	★	★					積替保管なし 許可の条件なし
大分県		★	令和2年7月3日 令和7年7月2日	第04408013840号	★	★				★	★	★	★		★			★	★	★					積替保管なし 許可の条件なし
島根県		★	令和3年6月29日 令和8年6月28日	第03200013840号	★	★				★	★	★	★		★			★	★	★					積替保管なし 許可の条件なし

◆許可の内容一覧表（別紙２）

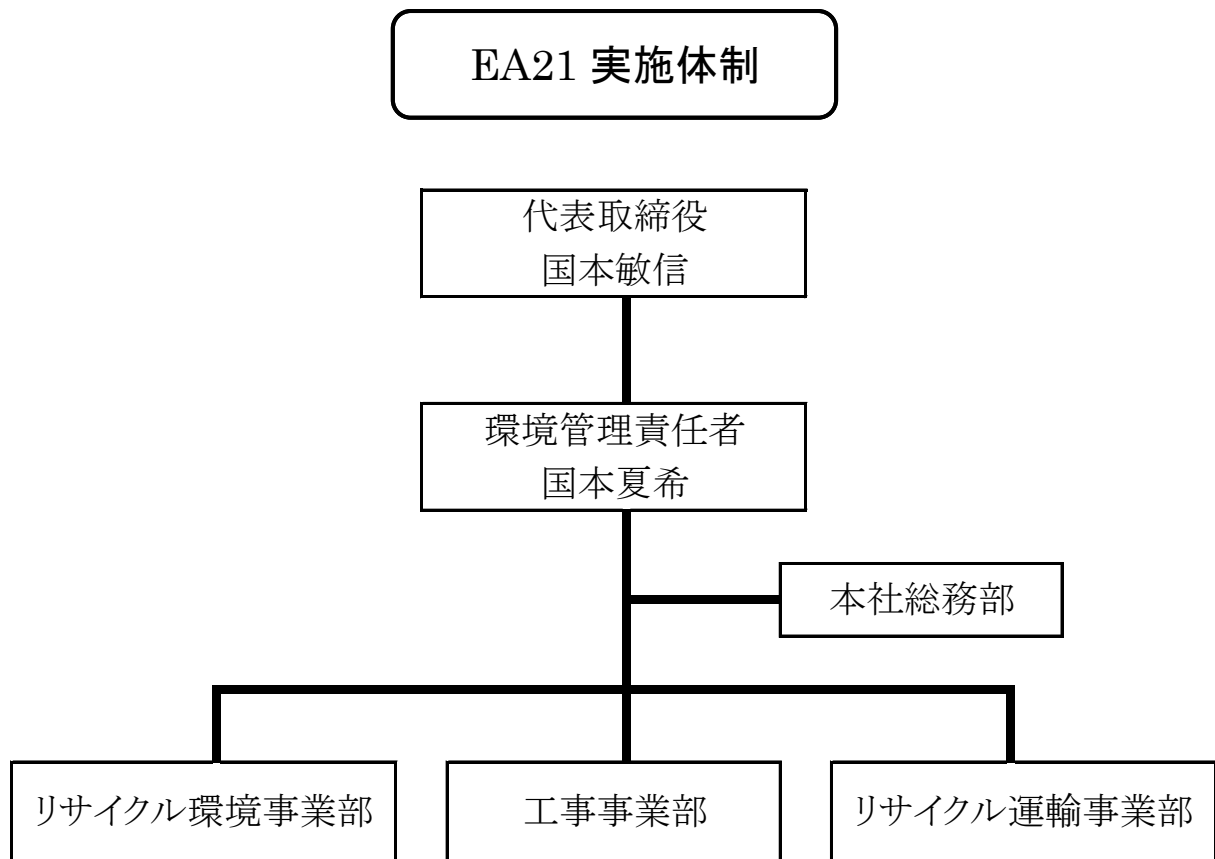
産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）																	その他				
都道府県及び政令都市	積替保管		許可の年月日及び有効年月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ダスト類（ばいじん）	13号廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	積替保管施設の所在地及び面積許可の条件
	有	無																							
山口県		★	令和6年1月25日 令和11年1月24日	第03525024970号						★	●	●	★		●			★	★	●					山口市陶字西ノ浴3919番 許可の条件なし

※破碎処分：★ 埋立処分：●

有限会社 クニモト建設
産業廃棄物目別処理工程図



2. 組織図および認証・登録範囲（全組織・全活動）



【役割分担表】

氏 名	所属（役職）	役割・責任・権限
国本敏信	代 表 者	EA21の統括
国本夏希	環境管理責任者	EA21の執行管理
本社総務部		EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
リサイクル環境事業部		廃棄物の廃棄量管理、リサイクル率管理
工事事業部		工事全般管理、燃料(軽油、灯油) 管理
リサイクル運輸事業部		運送業務全般管理、運行車両管理

クニモト建設・環境経営目標とSDGsの関連付け

SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けエコアクション21活動に取り組みます。

	SDGsの目標		我が社の経営目標
1	 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	化石燃料使用量の削減 ↓ 二酸化炭素排出量の削減
	 13. 気候変動に具体的な対策を	13. 気候変動に具体的な対策を	
2	 6. 安全な水とトイレを世界中に	6. 安全な水とトイレを世界中に	廃棄物総受入量の増加
3	 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	受託産業廃棄物 リサイクル率の向上
4	 12. つくる責任 つかう責任	12. つくる責任 つかう責任	解体工事発生廃棄物 リサイクル率の向上
5	 11. 住み続けられるまちづくりを	11. 住み続けられるまちづくりを	上水使用量の削減
6	 3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を	解体工事における 環境保全対策の徹底
7	 5. ジェンダー平等を実現しよう	5. ジェンダー平等を実現しよう	女性が働きやすい 職場環境の整備

3. 2022年度（2022年10月～2023年9月） および中期環境目標

環境目標			単位	基準年度	目 標			
				2020年度 (2020年10月 ～21年9月)	2021年度 (2021年10月 ～22年9月)	2022年度 (2022年10月 ～23年9月)	2023年度 (2023年10月 ～24年9月)	
1	二酸化炭素 排出量の削減		排出量	kg-CO2	1,452,541	—	—	—
			売上げ 当り	kg-CO2 ／ 百万円	2,370	2,358 以下 △0.5%	2,358 以下 △0.5%	2,346 以下 △1.0%
	1-1	電力使用量の削減	kWh ／ 百万円	183	182 以下 △0.5%	182 以下 △0.5%	181 以下 △1.0%	
	1-2	軽油使用量の削減	ℓ ／ 百万円	846	842 以下 △0.5%	842 以下 △0.5%	838 以下 △1.0%	
	1-3	ガソリン使用量の削減	ℓ ／ 百万円	28	27 以下 △0.5%	27 以下 △0.5%	27 以下 △1.0%	
1-4	灯油使用量の削減	ℓ ／ 百万円	2.7	2.7 以下 △0.5%	2.7 以下 △0.5%	2.7 以下 △1.0%		
2	廃棄物総受入量の増加		t	41,326	39,260 以上 △5%	39,260 以上 △5%	40,500 以上 △2%	
3	受託産業廃棄物 リサイクル率の向上		%	90.0	91.8 以上 2% 増	91.8 以上 2% 増	92.7 以上 3% 増	
4	解体工事発生廃棄物 リサイクル率の向上		%	90.0	91.8 以上 2% 増	91.8 以上 2% 増	92.7 以上 3% 増	
5	上水使用量の削減		m ³ ／ 百万円	0.08	0.08 以下 △0.5%	0.08 以下 △0.5%	0.08 以下 △1.0%	
6	解体工事における 環境保全対策の徹底		—	騒音・振動 防止、水質 汚濁防止を 実施	騒音・振動防 止、水質汚濁 防止の徹底	騒音・振動防止、水質汚濁防 止の徹底		
7	女性が働きやすい 職場環境の整備		—	キャリアアップ の資格取得 支援、正社員 登用の実施	キャリアアップ の資格取得 支援、正社員 登用の実施	キャリアアップの資格取得支 援、正社員登用の実施		

備考： ※1 2020年度の売上高： 612.9 百万円

※2 CO2排出係数は、中国電力：0.636kg-CO2/kWh（平成30年度・調整後排出係数）を採用

※3 上水使用量は本社事務所のみ。他の事業所は井戸水・計測不能

※4 PRTR法対象化学物質を使用していないので化学物質使用量削減の目標は掲げない。

4. 2022年度環境経営目標達成状況及びその評価

環境目標			単位	2022年度		
				環境目標	実績	評価
1	二酸化炭素 排出量の削減	総量	kg-CO ₂	—	1,462,521	—
		売上 当たり	kg-CO ₂ /百万円	2,358 以下	2,053 △ 12.9 %	◎
	1-1	電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	182 以下	147 △ 19 %	◎
	1-2	軽油使用量の削減	ℓ /百万円	842.0 以下	739 △ 12.2 %	◎
	1-3	ガソリン使用量の削減	ℓ /百万円	27.4 以下	22.3 △ 19 %	◎
	1-4	灯油使用量の削減	ℓ /百万円	2.7 以下	1.6 △ 43 %	◎
2	廃棄物総受入量の増加		t	39,260 以上	44,980 14.6 %	◎
3	受託産業廃棄物 リサイクル率の向上		%	91.8 以上	97.8 7 %	◎
4	解体工事発生廃棄物 リサイクル率の向上		%	92 以上	95.1 3.6 %	○
5	上水使用量の削減		m ³ /百万円	0.08 以下	0.08 △ 2 %	○
6	解体工事における 環境保全対策の徹底		—	騒音・振動防止、水 質汚濁防止の徹底	騒音・振動防止、水 質汚濁防止を徹底 した。	○
7	女性が働きやすい職場環境 の整備		—	女性が働きやすい 職場環境とは何か を追求する	正社員登用を行っ た。	○

※ 評価： ◎：削減（増加）率・±5%超の達成 ○：±5%以下～0%以上の達成
△：0%超～±5%以下の未達成 ×：±5%超の未達成 ⇒ 是正処置対象

備考：※1 2022年度売上高： 712.3 百万円

※2 CO2排出係数は、中国電力：0.636kg-CO₂/kWh（平成30年度・調整後排出係数）
を採用

※3 PRTR法対象化学物質を使用していない。

5. 環境経営計画及びその実施状況と評価並びに次年度の取組

環境経営目標を達成するために、次の環境経営計画を定め実行した。

当社の業務内容から取組期間を限定すべき項目はないので、すべての計画は年間を通じて取り組んだ。

環境経営目標		環境経営計画	責任者	評価・次期の取組
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	エアコンの温度の設定を季節に応じて調節する。	国本	○ ・真砂プラント等の大きな修理もなく、稼働効率を下げない状態で前年度の電気使用量より減少した。 ・事務所の照明のLED化の推進により、さらなる電力使用量の削減が見込める。 ・軽油使用量はトラックの稼働効率を見直すことでさらに減少できる余地がある。
		昼休み及び不要な照明の消灯を呼びかける。		
		照明器具のLED化		
		処理・生産管理を徹底し、プラント等の稼働効率を上げる。		
	軽油使用量	タイヤの空気圧の調整	徳永	○
		ふんわりスタート、アイドリングストップなどエコモード運転励行		
		処理・生産管理を徹底し、重機等の稼働効率を上げる。		
	ガソリン使用量	タイヤの空気圧の調整	国本	○
		ふんわりスタート、アイドリングストップなどエコモード運転励行		
	灯油使用量	灯油使用機器の使用時間短縮	徳永	○ ・活動項目に沿って実施。次年度も継続
	LPG使用量	省エネ意識を徹底する。	国本	○ ・活動項目に沿って実施。次年度も継続
廃棄物総受入量の増加		適正な分別処理の情報公開 中間処理場、最終処分場の適正管理	徳永	○ ・コロナ明けが進み、工事受注数が前年度より増加し廃棄物総受入量も増加した。
受託産業廃棄物リサイクル率の向上		5Sの推進 顧客への適正な分別方法の周知	徳永	○ ・活動項目に沿った取組みが実施できた。
解体工事発生廃棄物リサイクル率の向上		解体を丁寧に行い、現場での分別を徹底する。 リサイクル処理をていねいに行う。	山根	○ ・活動項目に沿った取組を実施でき、分別解体の徹底によりリサイクル率が向上。
上水使用量の削減		洗車・清掃時に水を流したままにしない 節水の呼びかけ	国本	○ ・活動項目に沿った取組みは実施できた。
解体工事における環境保全対策の徹底		低騒音型重機を使用する。 猛暑日は休憩をこまめに取る。	山根	○ ・活動項目に沿った取組みは実施できた。 ・次年度も継続
女性が働きやすい職場環境の整備		キャリアアップのための資格取得支援 正社員登用の推進	国本	○ ・活動項目に沿った取組みは実施できた。 ・次年度も継続

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法（廃棄物処理法、大気汚染防止法等）のチェックの結果、違反等はありませんでした。

関係当局より違反の指摘及び、利害関係者からの訴訟等も過去5年以上ありません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示

評価および見直しの実施年月日		令和5年12月1日
評価者名（代表者名）		国本敏信 代表取締役
評価及び見直しに参加した人		国本夏希 環境管理責任者 ・ 徳永芳久 統括部長
提出した情報（資料等）		①環境経営方針 ②2022年10月～2023年9月の取組における環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果 ③是正処置及び予防処置結果 ④環境関連法規制等の遵守状況のチェック結果 ⑤外部からの苦情等の受付結果 ⑥直近の審査報告書 ⑦前回の代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果 ⑧その他（例：環境関連法規等の改正動向の情報、etc）
評 価	環境経営システムが有効に機能しているか	・ コロナ明けも相まって工事受注量が増加し、また工事規模の拡大によって廃棄物受入量も増加した。 ・ リサイクルプラントの老朽化が懸念されるが現状二酸化炭素の排出量は減少しているため、今後も経過を観察する。 ・ また今年度から新たに「女性が働きやすい職場環境の整備」をSDGsと関連した取組みとして環境目標に設定した。その結果、正社員希望の女性パート社員の正社員登用を実施し、女性が働きやすい職場環境の整備を推進する足掛けとなった。 ・ この結果から、環境経営システムは有効に機能していると評価されるが、項目ごとに再検討する必要がある。
	環境への取組は適切に実施されているか	社員の意識が高まり、積極的に取り組んでいる。
見直し （変更の 必要性）	環境経営方針 変更の必要性	継続する。
	環境経営目標 変更の必要性	積極的な取組が成果を挙げているので、次期取組では目標の上方設定を検討することが望ましい。
	環境経営計画 変更の必要性	環境目標の達成成果を高めるため、計画を再検討する。
	実施体制 変更の必要性	変更する必要はない。
	環境経営システム等 変更の必要性	一部項目に成果は表れているが未達成項目を再度検討する。
指 示		2022年度の取組もおおむね良好な成果を上げたので、2023年度取組は意欲的な目標設定を行うこと。